

法政大学第一高等学校同窓会報

編集人 黒澤元孔 (同窓会・広報委員長) 平成3年3月26日(火) (第16号)
 発行人 大石勝康 (同窓会・会長) 武蔵野市吉祥寺東町3-5-7 ☎ 0422-22-8131(代)
 発行所 法政大学第一高等学校同窓会

本会は母校の発展を願う卒業生が相互の親睦をはかり連絡を密にし、互助の実をあげることを目的とする。(規約第2条)

新会長に

大石勝康氏(中・9期卒)

平成2年度の総会(六月十日)で役員改選が行われ、新会長に大石勝康氏を選出、同時に他の役員も改選されました。(7面参照)

就任挨拶

会長 大石勝康

会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申しあげます。

平成2年度(第13回)総会は、6月10日(日)新宿・小田急百貨店ニューオーキョー「ばるーん」において、総会準備委員長鈴木嘉能氏(高2)を中心として、各役員並びに各学年クラス委員の積極的なご協力により、馬場校長先生初め、母校現・旧諸先生をお迎えし、多数の会員の皆様とともに盛会のように開催することができました。ここに皆様のご協力に対し心からお礼申しあげます。

平成2年度の役員改選に当たり、野村会長がご勇退され、不肖私はその重責に選出された(平成2年度総会)



校旗を背に来賓の方たち(平成2年度総会)



だき同日会長に就任いたしました。また副会長の大木興、上田三代治両氏のご勇退により、新副会長には前田賢文、岩村元雄の両氏(留任)と、秋口政徳、川城官エ門の両氏(新任)が選出され、新役員により平成2年度がスタートいたしました。

今総会で永年ご尽力いただきました野村会長、大木副会長、上田副会長がご勇退されましたが、この同窓会の基礎を磐石なものに築きあげてくださったい感謝申しあげます。また昭和59年硬式野球部の春夏連続甲子園出場の支援活動そして昭和61年には母校創立50周年記念行事に参画されるなど、そのご努力は並大抵ではなかったと思います。ここに厚くお礼申しあげます。

このたび選任されました役員一同、法政一高同窓会の歴史を承継し、

新会長のプロフィール
 中学9期卒業、法大経済学部に進学、同卒業。現在、霞ヶ関信用組合・常務理事。一高硬式野球部OB会副会長。法大アメリカンフットボール部OB会長を兼務。

代役員のみならず、永年に亘り築かれました輝かしい伝統を守り、今後更に発展を図るべく努力いたす所存でございます。会員の皆様のご理解と心からお願い申しあげます。今後の同窓会の運営につきましては、同窓会の基本理念であります「母校の発展を願う卒業生互助の実をあげる」ことを基盤として、次の諸事項の遂行充実を図りたいと考えております。

- 一、組織の強化拡充
- 二、会費の徴収による財務の安定化
- 三、同窓会会報の定期発行と内容の充実
- 四、同窓会名簿の見直しと改訂版発行の準備

現況での卒業生相互の親睦連携は、クラス単位、学年単位が主体ですが、今後、学年単位として、先輩後輩、社会活動のうえにおける相互の連携等が行われるならば、真の同窓会の意義が高められると思えます。

以前、前田副会長は、「同窓生のよさは、たとえ初めて顔を合せても、同じ学校で育ったという仲間意識が、たちまち親近感、信頼感をよぶところにあります。社会で働く法政一高の同窓生一万七千人を、仕事の場や生活の場で結びつけたい、またそのような情報を提供するものが同窓会の仕事ではないかと認識しております。しかし、それには現在はまだ情報不足です。誰がどんな職業についていられるのか、どんな仕事に携わっているのか、またどんな趣味をもっているのか、まずそれを知るのが第一段階です。それがわかれば、次には、こんな話を聞きたい、こんな研究会をもちたい、あるいは同好の士が集まりたいが等、「その問題なら何期生の誰に話をきいてみたら」と即答のできる体制づくり(一会合をもつなら、あの先輩の店なら便宜をはかってくれるよ」と教えられる体制づくり)これが同窓会ではないでしょうか。我々もすでに人生七十の時代に生きております。それだけに長い人生を、それぞれ年代別に一杯働かし、楽しみ、自分の人生をより豊かに、より充実して生きてゆきたいものです。

そして、その背景に、人と人とのつながりの中に、法政一高同窓会がある。こんな同窓会を皆様と一緒に作ってきたいと念じております。」と述べられておりました。

中高一貫教育をめざす

総会挨拶 名誉会長 馬場 昌平



私もまったく同感で、このような素晴らしい同窓会に育てあげられたならば、法政一高同窓生一万七千人の和はもともと大きな輝かしい総会挨拶

同窓会になるものと期待しております。どうぞ皆様のお力を貸してください。皆様のご協力を心からお願ひ申し上げます。

校長の馬場でございます。今日は同窓会総会にお招きありがとうございます。たいへん嬉しく思います。日頃、同窓会の皆さんには、物心両面にわたり、いろいろお世話になっておりますが、この席を借りまして、厚くお礼申し上げます。

学校の方も、お陰さまで、年々充実・発展しつつあります。今年(平成2年度)から中学を一クラス増やして三クラスに、高校を一クラス減らして六クラスにいたしました。これは将来、中高一貫教育をめざし、教育の内容をいっそう充実させがために取られた措置であります。さらに、数年前から国際交流にも力を注いでまいりましたが、今やイギリス・ニュージージーランド・オーストラリアの学校と親密な関係を結んで、交流を深めつつあります。

また、これも数年前から、「教養文化講座」という、一種の市民講座を開講して参りましたが、PTA、卒業生父母、同窓生、および一般市民の方が三百名くらい参加され毎年、熱心に学習しております。先日、五月二十六日の開講式には、法政大学・阿利総長にお出でいただき、講演会を開きました。毎年、秋には著名な演奏家を招いて音楽会も催しております。

これらの活動は、学校本来の教育活動とは別に展開されますので、それだけエネルギーも費用もかかるわけですが、将来、学校が地域社会にも、国際社会にも門戸を開いて、大きく発展することを願っております。

今後とも、同窓会が学校の発展のためにご協力くださるよう、切にお願いする次第であります。最後に総会準備委員の方々のご努力に敬意を表し私の挨拶とさせていただきます。

平成二年度同窓会総会 盛況裡に開催

平成2年度同窓会総会は6月10日、新宿小田急デパート14階のニュートキョー「ぼるーん」において開催されました。当日の出席者は約三百名で、中学1期から高校42期までという巾の広い参加をみることができました。

会は榎原実(高・2期)財務副委員長長の司会で始まり、野村会長、馬場校長(名誉会長)の挨拶に次いで議長団を選出、議事に入りました。

野村会長より、平成元年度事業報告の後、田中財務副委員長長から会計監査報告と決算報告が行われ、いずれも承認されました。

次に野村会長が平成二年度事業計画を、同予算案を奥田

(中学3期の方たち)



(寺本先生を囲んで)



財務委員長より提案され、これも承認を得まして、最後に野村会長より任期終了にとともに役員改選案が提案されました。この会長提案も満場一致で承認を得まして、新会長と新役員が就任し、早速積極的な活動を始めようとなりました。

その後、野村会長と大木上田、副会長の三人の方々に馬場校長より感謝状の贈呈が行われ総会の会議は終了、午後12時から懇親会が開催されました。

懇親会は渡辺仁、総務副委員長長の司会で始まり、鈴木嘉能総会準備委員長の挨拶、安光前校長、来賓祝辞の後、倉沢顧問の乾杯首頭によって立

食パーティに入り、
「ぼるーん」の美味な料理を食べ、ビールをぐいぐい飲むほどに、先輩の後輩、クラスメイトとの会話があちらこちらで弾み、恩師、旧友とのスナップ撮影も盛んにみられま

した。パーティは2時間余で終了となり竹内信雄(高31期級委員)のリードで校歌を全員で大合唱、記念品(キーホルダーとクッキー)を手に平成4年の再会を約して解散となりました。(鈴木嘉能)

総会開催挨拶

本日はご多忙のところを馬場校長先生はじめ、ご来賓各位のご臨席を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

また、会員の皆様には、かくも多数のご出席をいただき

同窓会は、その根底をなすものは、規約にもありますとおり、「卒業生が母校の発展を願って、そしてお互いに連絡をとりあい、親睦をかさねお互いに助け合う」ことである。それは、とりもなおさず学友との集まりであります。

総会開催挨拶 および 事業報告と計画 (平成元年度) (平成二年度) 前会長 野村 光 一



梅雨の季節にもかかわらず、良いお天気にめぐまれ最高のコンディションで総会が開催されましたことは、まことに喜ばしいことであります。

ですが……「中学、高校生時代の友人は、一番結束している、一生の友人であり、金銭に替えがたい財産である」と申し上げておられます。それほど友人としての契りが深いということでもあります。本日も集まりの皆様も同感であろうかと存じます。どうか学友を大切に、自らお互いの交流を盛んにしていただきたいと思っております。このこと自体が

同窓会の繁栄につながるのだと申し上げることができましよう。

本日の総会、懇親会では、学友とまたご臨席の先生方と懐かしい昔語りをし、ご臨席賜れなかつた先生方のご近況などもお話しいただき、楽しいひとときをお過ごし下さるようお願い申し上げます。

本日の同窓会総会は、昭和63年度の、63年11月6日に開催された総会以来、1年7か月経過した平成2年度の総会として開催いたすわけであり

本日は、総会運営として、重要事項の報告、承認決定などがございしますが、一時も早急、同窓会の本来の姿である懇親会に移らせていただきたいと思っております。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

最後に、皆様の「ご健勝」とご繁栄、ならびに母校の益々のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

事業報告

昭和63年度の総会につきましては、秋口総会準備委員長との諸準備のもとに、昭和63年11月6日、母校法政一高(50周年記念会館)において盛況のうちに開催されました。

その後、平成元年度におきましては、平成元年11月15日四谷の主婦会館において委員総会を開催してから七か月が

経過いたしました。63年度の全員総会からは一年七か月になりますが、平成元年度におきましては、同年度の委員総会でご承認を得ました次の事業計画の推進にあたってまいりました。

(1)平成元年11月15日、四谷の主婦会館にて委員総会の開催。
(2)会報の発行(平成2年3月26日)。
(3)平成2年度総会開催の準備。総会準備委員長に高校2期の鈴木嘉能氏が選出され、準備のための役員会準備委員会を数次にわたり開催し、本日の総会の運びとなりました。
(4)役員任期満了にともなう改選の準備。役員改選の方法については、平成元年11月15日の委員総会で、ご承認を賜り、その方針で準備をすすめてまいりました。なお、この件につきましては、後ほどの議題にありますのでそのさいにご説明申し上げます。

(5)法政大学附属高校同窓会役員懇親会の開催。平成2年2月10日、東中野の日本園において、法政一高、二高、女子高、工業高の同窓会役員の懇親会を開催しました。今回は昭和61年に本会が足立してから第5回目にあたり

※3面6段に続く

(B)同窓会名簿のコンピュータ化の検討、促進。

(A)平成2年度総会の開催。同窓会の柱ともいえる事業で、本日の総会でございます。

このような推移のなかで平成2年度の事業運営いたしましたしましては、次の推進をしてみたいと存じております。

(1)平成2年度事業計画
同窓会は任意の親睦団体であり、日常的な活動はなかなかむずかしい、学校のイベント的な行事、同窓会の会合等、その節目節目に盛り上がりを見せ、活発な活動となりますが、また静かな活動となるという繰り返してあります。

以上が、平成元年度の主な事業活動の概略説明でございます。

事業計画

平成2年度総会開催の準備。総会準備委員長に高校2期の鈴木嘉能氏が選出され、準備のための役員会準備委員会を数次にわたり開催し、本日の総会の運びとなりました。

(2)役員任期満了にともなう改選の準備。役員改選の方法については、平成元年11月15日の委員総会で、ご承認を賜り、その方針で準備をすすめてまいりました。なお、この件につきましては、後ほどの議題にありますのでそのさいにご説明申し上げます。

(3)平成2年度総会開催の準備。総会準備委員長に高校2期の鈴木嘉能氏が選出され、準備のための役員会準備委員会を数次にわたり開催し、本日の総会の運びとなりました。

(4)役員任期満了にともなう改選の準備。役員改選の方法については、平成元年11月15日の委員総会で、ご承認を賜り、その方針で準備をすすめてまいりました。なお、この件につきましては、後ほどの議題にありますのでそのさいにご説明申し上げます。

(5)法政大学附属高校同窓会役員懇親会の開催。平成2年2月10日、東中野の日本園において、法政一高、二高、女子高、工業高の同窓会役員の懇親会を開催しました。今回は昭和61年に本会が足立してから第5回目にあたり

ですが、一高が幹事校となり、馬場一高校長、大越二高校長、島田女子高校長のご出席をいただき有意義な懇親会となりました。(関連記事別掲)

(6)法政二高創立50周年記念式典。平成元年11月11日川崎木月の法政二高において、50周年記念式典が開催され、同窓会を代表して会長、副会長が出席いたしました。

同窓会総会は

同期会・クラス会に つながります



〔中学9期・高校1期の皆さん。この後は同期会へ！〕

一高同窓会の規約では同窓会の総会は一年に一度開催されることになっております。ところで、会員の皆様方はクラス会、あるいは同期会を何年おきぐらいに開催されていますか。中には、なかなか企画が難かしくて開催できない

いという場合もかなりあるのではないかと思います。そのような場合には、ぜひ同窓会の総会に出席を呼びかけ、総会終了後に同期会、あるいはクラス会につながる方法をおすすめします。

平成2年度の総会の後にも



〔高校2期〈4組〉の皆さん。続いてクラス会へ！〕



〔清水先生を囲んで高校8期の皆さん。二次会へ！〕

そのままクラス会へとつながれたケースが数多くみられましたが、その中の一つ、高校2期の場合をご紹介します。(左写真参照)

オレンジ会

私たちのクラスは、6月10日の同窓会総会終了後に、階下の「礎礎」にて恒例のオレンジクラブのクラス会を開きました。(左の中央の写真が当日の記念撮影です)

参加者は30名。卒業後ちょうど40年になりますが、特に

同窓会総務委員長の鈴木嘉能氏と中村貞夫氏などのキメ細かなご尽力により、クラス会は20年余も続いております。飲むほどに、酔うにつれてなつかしい学生時代の話に花が咲き……。顧みると軍事一色の昭和19年に富士見町校舎に入學、忘れられない富士の裾野の野営教練に全員参加、教官に法政魂ならぬ大魂をたたき込まれたキンイ思い出が皆の話題になりました。

そして戦後、昭和二十一年

秋に私たちは吉祥寺校舎に移り、ここでやっと学生らしく皆それぞれ体育会や文化部の各部会に参加し、各人の才能を伸ばし落ち着いて勉学に励むことができるようになりました。

会の最後に、我が母校の発展を願い、連絡を密にし、相互の親睦を深めるという同窓会の目的を確認し、そして我がオレンジ会の永遠の発展を祈り閉会いたしました。

(高校2期4組 丸山秀雄)

※2面7段から続く

(C)同窓会報の発刊。(第16号)

(D)会費の徴収、並びに平成四年度以降の入会費、年会費改定の促進、会費の徴収については、機会のあるごとにお願いたしておりますが、その状況についてはなかなか困難な状態にあります。

そこで財源確保の方法として、総会の時に年会費一、〇〇〇円を徴収させていただきます。

また卒業生が同窓会に入会する時に、入会費一、〇〇〇円、年会費一、〇〇〇円、計三、〇〇〇円を徴収いたしております。

しかし、年々の事業支出の増大(会報の発行部数の増加など)、諸経費の増支出にともない、財源の確保の必要にせまられてまいりました。

このような状況から、卒業生が入会費、年会費を納入する時期を勘案しまして、平成4年度から入会費並びに年会費をそれぞれ一、〇〇〇円増額し、入会費三、〇〇〇円、年会費二、〇〇〇円、計五、〇〇〇円に改定すべく促進してまいりたいと存じます。

(E)法政大学附属高校同窓会役員懇親会の実施。

(F)同窓会名簿の完全配布の

完了。

以上が平成2年度の事業計画でございます。会員の皆さまの積極的なご協力をぜひお願い申し上げます。

(2)平成2年度役員改選について

規約により、役員任期は2年でありますから、本年はその改選期にあたります。規約では会長、副会長は委員において推薦することになっております。そこで、改選の運営につきましては平成元年11月15日の主婦会館における委員総会(A)役員選考委員会を設置しそこで候補者を推薦しただけ(B)総会でご報告申し上げ役員決定をみる。というご承認をいただきましたので、これにともなうすすめてまいりました。

なお、役員選考委員会につきましては、平成2年1月17日、飯田橋ルミネ内の中央労働会館で行い、その後若干の調整を経て、推薦候補を決定いたしました。

その後、5月8日から10日のクラス会において、推薦候補の承認を得ましたので本日の総会に提議をさせていただきます。ご承認のほどお願い申し上げます。



副校長就任にあたって

小川純一郎



このたび、法政大学第一・高等学校の管理・運営の充実と発展をはかるために、平成二年十月十八日付で、法政大学より副校長を命ぜられました。

校長先生の補佐役、不在のときの代理、対外活動の際の代行として、法政一中・高の発展と教育の充実のために微力ではありますが尽くして参りたいと思えます。

同窓会の皆様には、今後と

もご支援、ご協力を仰がなければならぬと思えますが宜しくお願いいたします。

学校の現況報告

現在、学校では、平成三年十月着工を目指して、特別教室棟の設計にかかり、山下設計事務所、大学の施設部、法政一中・高の建設委員会によって細部の検討が進められております。

特別教室棟は、地上四階、

地下一階で地下には工作室一階にコンピュータ教室、二階は英語工教室、三階には中学美術教室、四階は理科実験講義室となります。

今年度の四月入学生から一口四万円を二口以上の寄付金をお願いしております。

生徒募集状況

小学生人口、中学生人口が減少期に入りました。

平成二年度より、中学三クラス、高校六クラス体制の学校規模に変更いたしました。平成三年度の生徒募集では、中学は、三クラス百八名募集に対して志願者が千九十九名と十倍の競争率、高校は、六クラス百九十名募集に対して志願者が九百九十二名となり五・二倍の競争率となりました。年々学校のレベルが高くなってきています。

中学生・短期交換留学

法政一中に昨年九月十六日から今年の一月十五日までオーストラリア・メルボルングラマースクールからアンドリュー・マクミラン君が留学生として来ておりました。

マクミラン君は、中学三年の山本敏郎君の家にホームス

テイして、学校に来ておりましたが、帰国にさいして、今度、山本君が一月十五日からグラマースクールに通っており、三月三十一日まで交換留学

第5回付属高校同窓会 役員懇親会開催

副会長(前広報委員長) 川城官工門

平成二年二月十日(土)午後5時30分より、JR東中野駅前の「日本園」において法政大学付属高校(法政一高・法政二高・法政女子高・法政第一工業高)の同窓会役員懇親会が開催されました。

今回は4校持回りの幹事校が一巡し、二巡目の第一回として一高が幹事校の第一回となればならない旨を指摘されました。

また、校務ご多忙の中、一高馬場校長、二高大越校副会長の司会により進められました。

その後、各校同窓会の運営状況等が報告され、全法政の興隆を称え合い、今後とも連携を深めて相互発展に協力していくことを力強く申し合わせました。

各校の情報交換は概ねつきのとおりです。

二高「平成元年11月10日に創立50周年記念式典を開催の方々、女子高、工業高の役員の方々にも出席していただき成功裡に終了しました。

アメリカンフットボール部が昨年・本年と全国優勝を成し遂げ50周年記念に華を添えた」

女子高「会報の記事は、日常小まめに歩きながら原稿集



めを行い連絡をとり合っている。10年後には50周年を迎える。健康が許す限り活動していきたい。スポーツ関係では二高のフットボール全国大会にチアガールが応援出場し、友好の幅が広がっている」

工業高「会報は年2回発行する。名簿登録者は300人で5年に1回発行している。会報には年間活動状況の他、会費の納入状況、同窓生の近況便り等を掲載している。ゴルフと囲碁の同好会には補助金を出して継続している。

同窓生がいる限り同窓会をやる意気込みである」

一高「昭和61年に50周年記念式典を挙げる、その後同窓会としては平常運営である。本年は2年に一回の総会開催年であり、同時に役員改選期になっている。スポーツ関係では硬式野球部が昨春秋の大会でブロック代表で出場したが準々決勝で敗退した。ラグビー部は交流校ケルストン高校との定期戦で活躍している」

当日の出席者

二高・大越校長 元木会長 他4名

女子高・島田校長、近森会長 他3名

工業高・中越幹事長他4名

一高・馬場校長、野村会長 他6名

平成二年度、同窓会総会の収支決算は下表の通りです。

総会準備委員長 鈴木嘉能

財務委員長 奥玉 蒔

新委員です

「よろしく」

平成元年度(高校42期)と二年度(高校43期)の各級委員の方たちです。同期の方たちは、今後の連絡などこの方たちを通じて行って下さい。

＊高校42期・平成二年三月卒

級委員 三崎 亮司6組

仁藤久仁夫1組

米丸 孝1組

岩下 司2組

細村 明彦2組

小泉 威人3組

柳 邦明3組

松嶋 孝典4組

柳 敏正4組

岩村健一郎5組

後藤 義彦5組

＊高校43期・平成三年三月卒

級委員

阿部 泰士1組

安川 崇秋1組

樺沢 勝典2組

三澤 孝紀2組

小関 健夫3組

武藤 寿彦3組

青木 太郎4組

青木 順義4組

小嶺 眞道5組

魚地 貴之5組

湯川 智昭6組

吉田 政勝6組

渡辺 憲一7組

磯田 学7組

高橋 哲也8組

高橋 学7組

中川 勝義8組

照沼 丈史6組

実石 浩6組

稲垣 将之7組

菅野 友仁7組

菅野 友仁7組

阿部 泰士1組

安川 崇秋1組

樺沢 勝典2組

三澤 孝紀2組

小関 健夫3組

武藤 寿彦3組

青木 太郎4組

青木 順義4組

小嶺 眞道5組

魚地 貴之5組

湯川 智昭6組

吉田 政勝6組

渡辺 憲一7組

磯田 学7組

高橋 哲也8組

高橋 学7組

中川 勝義8組

平成2年度同窓会総会決算書 (単位 円)

取 入	支 出
総会会費 2,771,500	年会費 265,000
10,000×263名 (2,646,000)	1,000×265名
8,000×2名	総会準備費 220,559
米費祝金 (100,000)	印刷代(会員券等) (59,909)
名簿販売 (25,500)	通信費 (12,390)
	会議費 (148,260)
	総会費 1,413,377
	パーティー費 (1,308,309)
	記念品代 (84,000)
	感謝状 (16,068)
	雑 費 (5,000)
()内は内訳	計 1,898,936
収入合計 2,771,500	繰越金 872,564
	支出合計 2,771,500

退任挨拶

過去から将来へ つなぐ鎖の輪

前会長 野村 光一

同窓会の会長を三期七年間 務めていただいた野村光一氏が、平成二年度総会において退任されました。

永い間、本当にありがとうございました。今後も顧問としていろいろご指導いただき、ことになりませんが、野村前会長から退任のご挨拶(平成二年度総会にて)をいただきます。したのでご紹介いたします。前会長のご健康、ご清祥を心から祈り上げます。

退任の挨拶をされる 野村前会長



野村でございます。会長役を三期七年にわたり務めさせていただきましたが、本日の総会におきまして役員改選の

結果、新会長の大山さんになり、会長の任期中にはいろいろな事業がありました。

野球部の春夏甲子園出場、創立50周年記念事業への協力と同窓会自体の事業の推進などでありました。これらのことは歴史が評価してくれるので、私が、私自身としては、かなりの実績をあげられたものと感じております。

ことではなく、副会長、役員、各委員長、副委員長、あるいは級委員と会員の皆様全員の協力があったからだと考えております。私が同窓会に役員として加わりましたのは昭和32年、年齢的には28歳の頃でした。当時、同窓会の再建にあたりましては、正木先生をはじめ本日ご出席の方々のご努力があったわけですが、私は、組織委員長を任じられました。その頃は、まず各クラス委員の方々の名前を覚えるのに苦労したことを思い出します。本当に感無量でございます。

会長という立場は、人間でいえば顔の中のまゆ毛のように存在できなかったらと思う。まゆ毛はなくても人間の生死には関係がないかも知れませんが、あると格好がつくというのだと思います。過去から将来へつなぐ鎖の輪の一つとして務めさせていだいたことは、私の人生の中でも忘れることができないこととてでございます。

一高だより

各部の活動と行事

硬式野球部

平成二年の秋季大会は、皆様のご声援にもかかわらず、一回戦都立東大と高校に3対1で敗れてしまいました。

再々のチャンスをもたないで、7回の相手のワンチャンスに点を取られてしまい私の勉強と経験不足を感じました。しかし、選手は二年生13名、一年生15名が私のめざすところである「全てに一生懸命」という合い言葉に練習を重ね、練習試合では甲子園常連校と対等の試合ができるようになってきました。

夏までには、しっかりと経験を積み重ね、生徒と共に努力し一高野球部の伝統を受け継いだチーム作りを目指して行きたいと思っております。卒業生の皆様におかれましては、ぜひグラウンドにお立ち寄りいただき言葉をかけてください。

物理化学部

現在、物理化学部では、二酸化窒素、一酸化窒素などの大気汚染物質の測定をメインテーマとして行っています。

3回の24時間測定)を通して、季節別、時間帯別の大気汚染物質の分布状態を把握するのが大きな目的です。分析はこれら大気汚染物質をポンプで採取し、適当な発色剤を含む溶液に吸収させて、その発色の程度を分光学的に測るという方法をとっています。

この測定も私が顧問になる2年前(当時は松原先生が顧問をなされていた)から14年間継続してきており、近々、データのまとめも行っています。

ラグビー部

残念ながら、今年もベスト4の壁を突破できず、久我山高に大敗してしまいました。昨年、二十五年間、当部の部長でありました明石信夫先生が停年退職され、指導者が一新されました。

監督には、昨年まで法政大学の現役として活躍された、深沢真人先生(社会科講師)が就任されましたが、若さ溢れる好指導が期待されております。

また、昨年、一高を卒業しニュージールランドに留学しておりました嶋崎大地君が、ニュージールランドの代表選手として環太平洋大会等で活躍し、本年三月、帰国し法政大学へ復学することになりました。また、昭和四十一年卒業の武村秀夫君(旧姓・鈴木)が本年四月より、法政大学ラグビー部の監督として指導に当たることになりました。

プラタナス祭

九月二十九日、プラタナス祭の幕が開いた。モヤイ像を模した門柱をはじめ、装飾にも熱がこもっていた。クラス展示では、カジノ、ペア・ゲイム、小劇場、詩の朗読など多彩な企画が披露された。記念館ホールでは中学各クラスの劇やクイズが行われアンコールの嵐となる一幕も。

二日目、台風の接近にもかかわらず、かなりの客入り。クライマックスは、恒例ともなった「法政仮装大賞」と「後夜祭」。一瞬の美(?)に会場は沸いた。中後夜祭では法被踊りに神興も繰り出され、それが盆踊り。成功あり失敗あり。それぞれの思いを、共に分ち合った文化祭だったのだろう。

中学校生徒会担任 松浦 麻紀子

同窓会会員年会費の納入にご協力下さい

同窓会の運営・活動・本紙の発行などの財政的支えには、年会費の収入が大きな柱となっています。ぜひ年会費の納入にご協力下さい。

***** 広告・原稿を募集します

本紙へ広告を出稿ご希望(有料)の方は、会長または編集人にご相談下さい。同期・同級会などの記事、写真がありましたら、ぜひお寄せ下さい。

歓迎!

新会員の皆さんへ

同窓会役員と新委員の懇談会

3月8日、一高記念会館にて

「大石」明日、皆さんが卒業されること、おめでとうございませう。皆さんは高校、あるいは中学から3年ないし6年間、法政に学んだいわゆる法政ボーイです。これから法政大学に進む方はさらに4年間法政に学ぶわけで、7年か10年も法政に在ることになるわけです。

私たちは旧制中学から法政で学んだのですが、その頃は

中学と商業に分かれていました。戦後合併して法政一高になったわけですが、その間、私たちも同じ釜のめしを食ったわけですが、それを最も実感したのは中学時代の5年間で。私は硬式野球部におりました関係で、合宿などで先輩後輩と共に本当に同じ釜のめしを食った中で卒業して43年経った今でも家族ぐるみのおつきあいが続いております。

大学は全国区でいろいろな高校から入学してきますからそれもまた多勢の友人ができるのですが、やはり一生を通じての交友は中・高時代の友達だと実感しているのが現在。これから40年と長い人生の中で皆さんが仲間と交流していく場として、同期のクラスが一つの核になっていくわけですが、その交流の中心のなまめ役として、皆さんには同窓会の級委員になっていただくわけです。さらに級が学年組織になって、この核が活発に活動することによって同窓会も発展するわけです。したがって同窓会活動は誰のためでもなく自分たちのためであることを見届けていただきたいと思

います。皆さんは高校43期ということになります。同窓会には旧制中学と商業が1期から9期まで、その後には高校1期から42期まであります。その活動は、まず2年に一度開催される総会があり、その2年の間には各学年の級委員の方が集まって委員総会が開催されます。今年昨年の総会がありました。今年委員総会を開催する年になっております。ぜひ皆さんが呼びかけ合って出席されるようお願いいたします。

私たちはすでに皆さんの父親の年齢に達しています。やはり若い方たちが加わって活動していただかないと続き

ません。ぜひ皆さんが会の運営に参加していただきたいと思



懇談会出席者の皆さん

この懇談会は昨年の3月に第1回目を開催し、今回は第2回目です。これからも引き続き開催する予定です。

収支会計報告、事業計画と事業報告などを議事にかけ委員の皆さんの承認を得ます。形式は同窓会総会(会議)を行い(約30分程)その後、懇親会を一時半か二時間行

をめぐりして議論がなされることもありますが、母校の発展と同窓会の懇親という根本的な点ではまったく強くまとまっており誇りに思っております。以上簡単ですが同窓会についての説明を終ります。

「秋口」皆さん、明日のご卒業おめでとうございませう。皆さんは高校43期の卒業生になるわけですが、この43期卒ということをよく覚えてお

いてください。同窓会では何年卒業よりも何期卒業の方がわかりやすいからです。それから同窓会の運営上大切なことは皆さんの住所録の完備です。住所が変更になった場合は必ず級委員に届けてもらい、それを学年委員に把握していただくようにしておかなければならないから

をめぐりして議論がなされることもありますが、母校の発展と同窓会の懇親という根本的な点ではまったく強くまとまっており誇りに思っております。以上簡単ですが同窓会についての説明を終ります。

「秋口」皆さん、明日のご卒業おめでとうございませう。皆さんは高校43期の卒業生になるわけですが、この43期卒ということをよく覚えてお

て納めていただきます。この年会費は平成三年度分に相当するわけですから、それ以降つまり平成四年度からは同窓会に振込んでいただくわけ

に、この一点だけは特に級委員の方にお願ひしておきたいと思

また、昭和59年野球部が甲子園に出場したときの同窓会の支援についてですが、この時の経費予算は、学校とPT

Aがそれぞれ一千万円を負担し、同窓会が八百万円寄金を集めるというものでした。同窓会では直ちに募金活動を始め一千四百五十万円を集めることができました。また、この50周年記念会館建設のときにも募金活動を行ったという実績もあります。これらのことは同窓の皆さんの母校愛と同窓会という組織があったからだと思います。どうか同窓会の発展のため力を貸してください。

「鈴木」これから皆さんは大学へ進学したり、あるいはその他の方面に進まれるわけですが、なかなかこの母校に来る機会も少なくなってしまうかと思

「鈴木」これから皆さんは大学へ進学したり、あるいはその他の方面に進まれるわけですが、なかなかこの母校に来る機会も少なくなってしまうかと思

◎出席者：馬場校長・小川副校長 佐々木事務局長 大石会長 岩村・秋口両副会長、鈴木総務委員長、黒澤広報委員長。および平成二年度同窓会各級委員。(委員氏名一覧は平成元年度委員名とともに4面下段に掲載されています)

同窓会
新役員一覽

平成2年度の総会において
役員の変更が行われ、会長以下、
左記の方たちが選出されました。
(敬称略)

- 会長 大石 勝康 中9
- 副会長 前田 賢文 中5
- 岩村 元雄 高8
- 川城 官三 門高9
- 秋口 政徳 高5
- 顧問 野村 光一 商7
- 相談役 大木 興 中1
- 上田 三代治 商2
- 田中 耕作 商2
- 清水 昭二 中4
- 桜井 勇 商7
- 赤沼 啓二 郎 高8
- 梅木 喬 高9
- 旧顧問 相談役、理事、
参与の方たちは留任
- 総務委員長 鈴木 嘉能 高2
- 副委員長 清水 幸一 高2
- 中島 康孝 高2
- 神林 厚 高15
- 奥田 蕪 商7
- 櫻原 実 高2
- 井手上 豊介 高11
- 黒澤 允孔 高3
- 泉 智雄 高8
- 初田 裕 高8
- 鈴木 勝雄 高10
- 宮地 卓夫 高15
- 名簿編纂委員長 渡辺 仁 高5
- 朝井 秀行 高2
- 山路 隆秀 高3
- 竹内 信雄 高3
- 片庭 伸 中9
- 山田 富藏 高7
- 会計 監査

平成元年度収支決算書

監査・財務委員長 奥田 蕪
(H1. 4. 1~H2. 3. 31)

法政大学第一高等学校同窓会

収 入 の 部		(単位 円)			
款 項	予算額	決算額	差異	備 考	
繰越金	2,464,736	2,464,736	0		
会 費	1,252,000	1,388,325	△ 136,325		
(イ) 入 会 金	688,000	688,000	0	2千円×344	
(ロ) 一 般 会 費	344,000	344,000	0	1千円×344	
(ハ) 年 会 費	100,000	290,000	△ 190,000		
(ニ) その他会費	90,000	24,000	66,000		
(ホ) 雑 収 入	30,000	42,325	△12,325		
繰入金	0	0	0		
繰入金	0	0	0		
計	3,716,736	3,853,061	△ 136,325		

支 出 の 部		(単位 円)			
科 目	予算額	決算額	差異	備 考	
経常費	745,000	1,036,494	△ 291,494		
(イ) 学校協力費	180,000	197,811	△17,811		
(ロ) 会 議 費	100,000	299,585	△ 199,585		
(ハ) 組織活動費	0	0	0		
(ニ) 印刷 費	50,000	122,664	△72,664		
(ホ) 通 信 費	50,000	34,348	15,652		
(ヘ) 人 件 費	345,000	345,000	0		
(ト) 事務用品費	0	1,174	△ 1,174		
(チ) 雑 費	20,000	35,912	△15,912		
事業費	1,140,000	1,365,117	△ 225,117		
(イ) 会報発行費	1,050,000	1,204,746	△ 154,746		
(ロ) 総 会 費	90,000	160,371	△70,371		
予備費	50,000	50,000	0		
予 備 費	50,000	50,000	0		
小 計	1,935,000	2,451,611	△ 516,611		
次年度繰越金	1,781,736	1,401,450	380,286		
合 計	3,716,736	3,853,061	△ 136,325		

平成2年度収支予算書(案)

(H2. 4. 1~H3. 3. 31)

法政大学第一高等学校同窓会

収 入 の 部		(単位 円)			
科 目	予算額	内	訳		
繰越金	1,401,450				
会 費	1,437,000				
(イ) 入 会 金	758,000	(イ) 新卒業生入会金	379名×2千円		
(ロ) 一 般 会 費	379,000	(ロ) 新卒業生年会費	379名×1千円		
(ハ) 年 会 費	300,000	(ハ) 会員口数年会費	300口×1千円		
(ニ) その他会費	0	(ニ) 会議開催時出席者負担金			
雑 収 入	30,000	利息、その他			
繰入金	2,250,000	(ホ) 総会収入	250名×9千円		
繰入金	2,250,000				
計	5,118,450				

支 出 の 部		(単位 円)			
科 目	予算額	内	訳		
経常費	898,000				
(イ) 学校協力費	218,000	(イ) 学校主催行事、生徒部活動等			
(ロ) 会 議 費	200,000	(ロ) 委員総会、役員会、各委員会、会計監査等			
(ハ) 組織活動費	0	(ハ) 同窓会の組織強化整備に関わるもの			
(ニ) 印刷 費	50,000	(ニ) 決算、予算、一般会議資料の印刷費			
(ホ) 通 信 費	50,000	(ホ) 会議開催通知、資料送付等			
(ヘ) 人 件 費	345,000	(ヘ) 事務局員謝礼			
(ト) 事務用品費	15,000	(ト) 事務用品等			
(チ) 雑 費	20,000	(チ) 慶弔費及び振込手数料等			
事業費	3,011,000				
(イ) 会報発行費	1,200,000	(イ) 定期発行一回分を見込む			
(ロ) 総 会 費	1,811,000	(ロ) 委員総会同窓会負担分			
予備費	100,000				
予 備 費	100,000				
小 計	4,009,000				
次年度繰越金	1,109,450				
合 計	5,118,450				

平成3年度
委員総会開催の
お知らせ

下記により同窓会委員(クラス
委員)の総会を開催いたします。
各期クラス委員の皆さんは、ぜひ、
ご出席ください。

記

日・時 平成3年6月12日(木)
6:30 P.M. より

場 所 主婦会館

(JR四ツ谷駅 東口駅前すぐ)
議 題 (A)平成2年度経過報告
(B)同 会 計・監査報告
(C)平成3年度事業計画
(D)同 収支予算案計画
(E)平成4年度、全員総会企画
(F)入会金・年会費改定の件
その他。

委員の皆さんには、案内状・出
欠返信はがきを別送いたします。
必ずご返信下さい。

一高同窓会 会長 大石勝康
総務委員長 鈴木嘉能

年会費振込用の
用紙を同封しま
した。ご利用く
ださい。

同窓会活動を進めてゆく
には、どうしても一定の財
源が必要となります。その
財源の基礎になるのは会員
の皆さまが納入される年会
費です。

母校の行事への参加、会
員名簿の整理、本紙の発行
などを維持するためにも、
ぜひ年会費をお振込み下さ
い。皆さんのご便宜をは
かって今号には振込用紙を
同封いたしました。ぜひご
利用のうえ、お振込下さい。
☆年会費=1口千円です。

(平成4年度より二千円となり
ます)

平成二年度卒業式挙行 三七九人が新同窓会員に

平成二年度の一高卒業式が3月9日、午前十時から母校の体育館で挙行されました。



卒業生、父兄あわせて約七百人の方が出席、式は卒業証書授与、校長先生の式辞、総長、PTA会長、大石同窓会会長の祝辞と続き、在校生、卒業生がそれぞれ送・答辞を述べた後、PTAから記念品が学校に贈られ、校歌斉唱で

式を閉じました。当日の写真の一部をご紹介します。上段右(証書授与)同左(感慨もひとしおの父兄の方たち)中段(恩師一人ひとりに握手をしてお礼をいう卒業生たち)下段(一高生が如何にモテるかがこの写真です。花束を抱えた女子高生が30人近く正門前に待っていました……) [黒澤] 歓迎!新同窓会員諸君。



高校5.2倍、中学は10倍強

平成3年度志願者数

平成3年度の志願・入学状況が、ほぼ確定しました。高校は募集人員に対して、

5.2倍(前年度5.7倍)中学は10.2倍(同8.9倍)という厳しい倍率でした。特に、中学は高校入試難を

反映して、10倍を超える難関となり、父兄も一貫教育への期待をこめて子弟を受験させる傾向が強まりつつあることを示しているようです。(法政一中・高小史) みましました。

平成3年度入学者状況

中学校 (H3年3月1日現在)

募集人員	志願者	合格者	入学者
108	1,099	189	109

高等学校 (最終数値ではありません)

	募集人員	志願者	合格者	入学者
推薦	90	473	153	151
一般	100	519	102	57
(計)	190	992	255	207
法一中			80	75
(合計)				

平成3年度進路状況 (H3.3月卒)

卒業生総数=379 法大への推薦内訳

学部	法学	文学	経済	経営	社会	工学	計	%
一部	56	23	66	58	43	53	299	78.9
二部	16	10	21	—	6	—	53	13.9
計	72	33	87	58	49	53	352	92.8

※他大学等は未確定

平成2年度入学者状況

中学校

募集人員	志願者	合格者	入学者
108	958	187	108

高等学校

	募集人員	志願者	合格者	入学者
推薦	90	416	176	169
一般	100	668	105	57
(計)	190	1,084	281	226
法一中	77	74	74	74
(合計)	267	1,158	355	300

平成2年度進路状況 (H2.3月卒)

卒業生総数=342 法大への推薦内訳

学部	法学	文学	経済	経営	社会	工学	計	%
一部	53	20	55	54	36	54	272	79.5
二部	11	8	17	—	4	—	40	11.7
計	64	28	72	54	40	54	312	91.2

他大学・0、専修学校・10、就職・2、浪人・18=計30

編集後記

湾岸戦争の勃発、という暗いニュースでスタートした平成三年ですが、ようやく戦火も納まりました▼暖冬だったような、北日本では大雪だったような一・二月でしたが、母春は確実に来たようです。母校の桜も入学式の頃に満開となることでしょう。久しぶりに見に行きたいものです▼前任の川城氏から本紙の編集を引き継ぎましたが、原稿が少なく発行予定が遅れることばかり心配しておりました。法政工高、二高、女子校の会報を拝見したのですが、いずれも本紙よりかなり立派なものばかりです、いささか胸がふさがる思いです▼本紙の発行、発送には同窓会予算の三分の一近くもかかっております。他の附属校の場合ももっと低く財政基盤の違いを見せつけられました。自分一人ぐらいはと思わずに、ぜひ年会費をご納入くださるよう切にお願い申し上げます▼母校では校舎増築が決定しました。母校がますます発展するのを見ることのできるのには本当に喜ばしいことです。同窓の一人ひとりが母校に対する熱い気持ちを持ち続けることによって発展充実があるのではないのでしょうか。その気持ちの組織化されたものが同窓会です。積極的なご参加をお待ちします▼同窓会宛にご意見、記事をお寄せ下さい。(黒澤)